



イサラ研究所 2024



ISSARA MEANS FREEDOM

イサラは、労働者の声、パートナーシップや
イノベーションを通し、グローバル サプライ
チェーンで働く何百万人もの労働者の生活に変
革をもたらす事が出来ると考えています。

目次

- 2 イサラ研究所について
- 4 イサラ研究所が展開する変革技術について
- 6 責任あるビジネス慣行の実現を目的としたイサラのプログラム
- 8 出発点: 職について良く理解するには、労働者の声を聞く必要があります。
- 10 労働者の包括的モニタリング (ILM)は、地域や産業をまたいだ労働者の声です。
- 12 ILMは、システムや人々へ非常に重要でポジティブな変化をもたらします。
- 14 企業は、ILMを通し如何に人権デューデリジェンスをボトムアップに実践できるか？
- 16 ファーストマイルに至るまでの倫理的採用慣行
- 18 倫理的採用ネットワーク (ERN)及びGolden Dreamを通した移住労働者の採用システムの変革
- 20 イサラ研究所の事業モデルにおける8つの重要な要素
- 21 パートナー及びドナー

イサラ研究所について

イサラ研究所は、アジア、ヨーロッパ及びアメリカに拠点を置く独立したNGO (U.S.501(c)(3)non-profit)で、労働者の声、パートナーシップやイノベーションを通し人身売買・強制労働問題に取り組んでいます。イサラ研究所は、2014年に反人身売買や倫理的サプライチェーンの構築におけるさらなる**包括性、イノベーションやインパクト**の緊急な必要性に応じる形で、国連での勤務経験のある反人身売買の専門家チームにより設立されました。イサラ研究所は、2024年中盤の時点で職員35人を有し、そのほとんどがアジアを拠点としていますが、ヨーロッパ、中東やアメリカにも職員がいます。

イサラのビジョン及び目的は、労働者や地域社会の為の、また責任あるビジネス慣行を実現する為の平等で公平なサプライチェーンの構築です。イサラが有する現場からの視点では、労働者の搾取や環境利用が見逃されて罰を免れる事で、貧困や悪しきビジネス慣行が永続しているのは明白です。これは、企業による十分なデータに基づかない調達活動や他の意思決定にも見られています。

イサラ研究所は、エンパワメントされた労働者の声を中心に据える事で、貧困やリスクが内在したビジネス慣行へ対応しています。これにより、労働者の搾取や環境利用を見える化し、労働問題や環境

問題へ、現地において持続可能的に根本的原因の把握に至るまで、より安易に対応出来るようにしています。

イサラ研究所との協力・連携に興味のある方は、この冊子に目を通して、我々が提供するテクノロジーやプログラム、そして社会へもたらすインパクトや機会について学んで下さい。

包括性

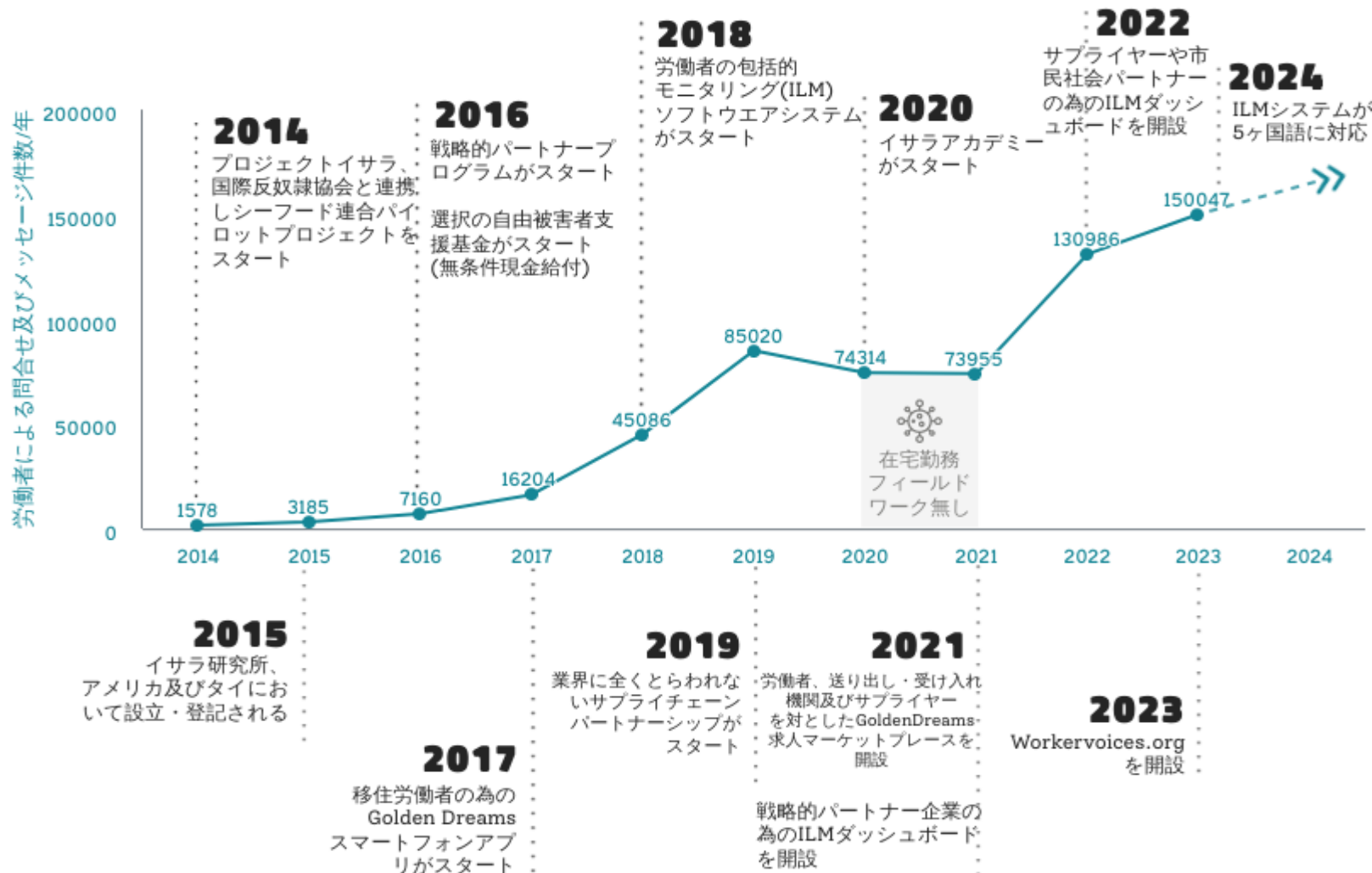
イサラ研究所の倫理的サプライチェーンのビジョンでは、労働者、地域社会、サプライヤー、送り出し・受け入れ機関、政府、草の根レベルの団体まで、実際のサプライチェーンで活動するあらゆるステークホルダーや履行義務の所持者を含みます。また、国際的なバイヤー、サプライヤーや政府機関ともつながりを持ちます。

イノベーション

我々は皆、世界各地に住んでおり、話す言葉や技術的なスキルセットも異なっています。我々が皆、有意義にリアルタイムでつながるにはどうしたら良いでしょうか？技術、データやパートナーシップのイノベーションを通し、人々をつなぐ事が出来、力と情報の非対称性に対応する事が出来ます。

インパクト

倫理的サプライチェーンコミュニティは、保護された労働者や彼らが住む地域の人々による継続した確認やフィードバックを通し、人権や環境フットプリントについて真に理解すると同時に、継続して向上する事が出来ます。



イサラ研究所が展開する変革技術について



労働者の包括的モニタリング (ILM)

労働者の包括的モニタリング (ILM) は、労働者の声を中心に据えた技術システム及びマルチステークホルダーの協力プラットフォームで、2018年に開設されました。国際的なブランドや小売業者、サプライヤー、送り出し・受け入れ機関や政府機関は、ILMを通し、より倫理的なサプライチェーンの構築を推進する事が出来ると同時に、労働者や市民社会と有意義な関わりを持つ事が出来ます。

ILMは、技術的な側面では、移住労働者の送り出し・受入国において労働者により確認された採用や労働環境に関する問題のリアルタイムなモニタリングが可能な安全性が保証されたクラウドベースの労働問題管理システムです。

また、人間的側面では、ILMはサプライチェーンにおける人身売買や強制労働問題の特定や低減と言う共通の目的を達成する為に、NGOs、労働組合、送り出し・受け入れ機関、サプライヤー、ブランド・小売業者、労働者や一般人を革新的で体系的な方法でつなげます。



workervoices.org

workervoices.orgは、ILM行動ネットワークの為のウェブサイトで、労働者の声や労働環境の実情を共有・詳述したサンドボックスです。

このウェブサイトは、アジア全域の労働者が相談窓口へ問合せたデータを集約しており、主にILMからの匿名化されたデータをもとに、サプライチェーン全体における労働者の継続した経験や懸念をリアルタイムに表示しています。

このウェブサイトはまた、世界のサプライチェーンで働く労働者の生活や労働に関する様々な側面を取り上げた労働者主導のビデオや小ドキュメンタリーを英語の字幕付きで掲載しています。人々は、このウェブサイトを閲覧する事で、アジアの労働者の声と直接つながる事が出来ます。



Golden dreams

Golden Dreamsは、2017年に労働者や強制労働のサバイバーにより設計された、移住や本国帰還において極めて重要な最新情報を安全にクラウドソーシング、共有、検索する為のアプリケーションです。

Golden Dreamsでは、労働者や求職者の為のスマートフォンアプリを提供しています。このアプリでは、グループ討論ボード、求職マーケットプレース、世論調査、ニュースや労働者の権利に関する非常に重要な情報などの機能が付随しています。

Golden Dreamsのユーザーは、労働環境、住環境、賃金、労働時間、扱われ方、採用関連費用や送り出し・受け入れ機関よりオファーのあった求人が、実際の求人と正確に合致しているかなどについて、送り出し・受け入れ機関や雇用企業を匿名にて評価する事が出来ます。

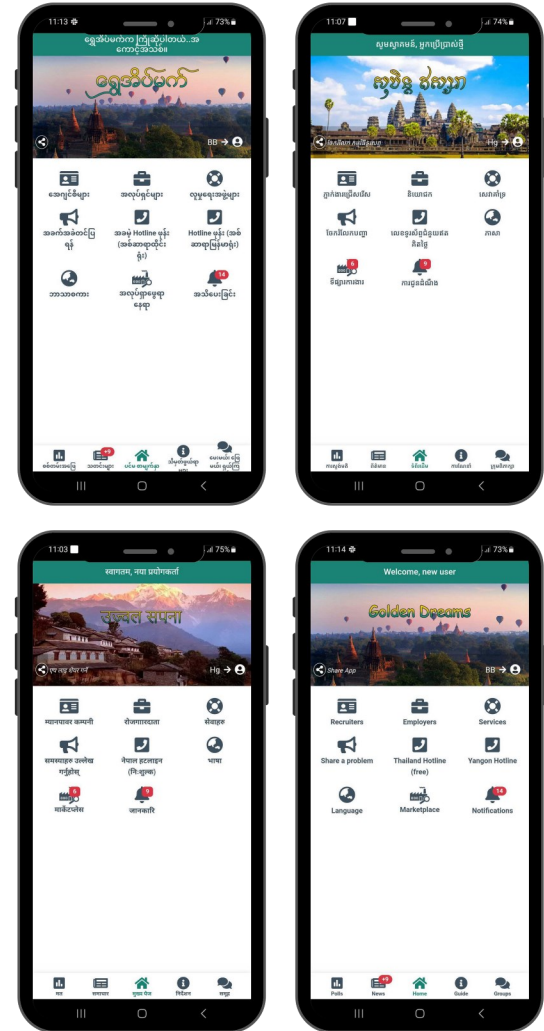
Golden Dreamsの求人マーケットプレースでは、求職者は、ビジネスデスクトップバージョンを使用する認可された企業や送り出し・受け入れ機関により掲載された求人を検索し応募する事が出来ます。

イサラのラボでは、より倫理的なサプライチェーンをゼロから構築する為に、受賞歴のある画期的な技術や研究手法を自前で設計・構築しています。これらは、サプライチェーンにおいて労働環境や環境条件を確認する労働者の安全性を確立すると同時に、彼らとの信頼関係を構築し信頼出来るデータを獲得する為の唯一の方法です。

イサラ研究所が提供する技術は、労働者へのより優れたサービスの提供を可能にすると同時に、人権・環境デューディリジェンス(HREDD)を効果的に実践する為の優れたデータやツールの構築を可能にします。

イサラは、倫理的なサプライチェーンの構築や人権・環境デューディリジェンス(HREDD)の実践において、労働者やサバイバーが非常に重要で代替えの効かない役割を担う為のより多くのスペースを構築しています。これにより、リスクを顕在化し、複雑なグローバルサプライチェーンにおける成功例を実証し、事業構造改革を推進しています。

Golden Dreams スマートフォンアプリ -
 スプラッシュスクリーンで4ヶ国語に対応



責任あるビジネス慣行の実現を目的としたイサラのプログラム

国際的なバイヤー

経営方針: 人権、責任ある採用慣行や人権デューデリジェンス (HRDD)に関する方針のレビューをサポート

能力強化: サプライヤー、送り出し・受け入れ機関やバイヤーチームの為のイサラアカデミー研修

分析及び業務計画: バイヤーのサプライチェーンで活動する労働者、サプライヤーや送り出し・受け入れ機関の見識に基づいたサプライチェーンにおける人権と環境のデューデリジェンス (HREDD)及び企業持続可能性デューデリジェンス指令 (CSDDD)遵守強化の支援。

労働者の包括的モニタリング (ILM): サプライチェーン全体における労働者の相談窓口の導入。また、移住労働者の受入国の製造現場や送り出し国につながる採用回廊における問題の是正支援。

サプライヤー及び国内産業

経営方針: 製造業者、加工業者や上流の小規模事業者の為の人権関連方針の強化

能力開発: サプライチェーン上流の小規模事業者を含め、サプライヤーを対象としたイサラアカデミー研修の実施

調査、実践的なツール及びシステム強化: 保護された労働者の声の知見に基づいた労働者の満足度調査や採用システム評価を通じた人権と環境のデューデリジェンス (HREDD)及び企業持続可能性デューデリジェンス指令 (CSDDD)遵守及びビジネスシステム強化の支援

労働者の包括的モニタリング (ILM): 送り出し国の求職者・労働者や彼らの採用プロセス全体を含め、労働者の声、内部の苦情メカニズムや労働問題の是正支援

送り出し・受け入れ機関及び関連協会

経営方針及びシステム強化: イサラ研究所は、移住労働者の採用回廊において、移住労働者の送り出し・受入国の両方で、送り出し・受け入れ機関及び関連協会と協働しており、採用方針や実際の採用慣行の強化、及び市民社会との協力ネットワークを構築しています。

倫理的採用ネットワーク (ERN): 求職者や労働者へのリスクの検知・対応を通し、ファーストマイルに至るまでの倫理的採用慣行を実践する為の送り出し・受け入れ機関や彼らの顧客(サプライヤー・バイヤー)の支援

診断、研修及び実践的ツール: イサラ研究所は、

利害関係者が直面する課題や複雑で変化する状況への対応方法を理解しており、実用的なツール、調査、診断、研修や技術を通しこれらの課題克服や対応をサポートします。

戦略パートナー (SP)プログラム

イサラ研究所は、国際的なブランド・小売業者やサプライヤーなどの進歩的な企業とのパートナーシップを通し、倫理的なサプライチェーンを構築・実践する為に、労働者の声のエンパワメント、データ収集・分析や協働アプローチに取り組んでいます。イサラ研究所の事業モデルは、労働関連のリスクの検知や軽減、ビジネスシステムの改善、そして様々な業界における労働問題の是正など、多くの画期的な成果を生み出しています。イサラ研究所が自前で開発した労働者の包括的モニタリング(ILM)やGolden Dreamsスマートフォンアプリは、進歩的なサプライヤーや送り出し・受け入れ機関による苦情メカニズムの管理や移住労働者の採用へ変革をもたらしています。イサラ研究所の戦略パートナー(SP)プログラムの重点領域の一つは、労働問題の是正活動とあわせたビジネスシステムの強化や問題の事前予防などの根本的な事項への重点的な取り組みです。労働問題が発覚した際は、それらの問題の是正対応と同時に、イサラ研究所のチーム、サプライヤーや送り出し・受け入れ機関により、根本原因の究明もなされます。これにより、さらなる被害が防止され、時間と共により良い採用プロセスや労働環境を構築する事が出来ます。

イサラアカデミー

イサラ研究所は、イサラアカデミーを通し、企業、送り出し・受け入れ機関、市民社会やブランドホルダー・小売業者、ドナーやその他の関係者へ、対面やオンラインにて研修プログラムを提供しています。対面による研修やウェビナーでは、労働者の声やイサラ研究所が有する現場経験に基づき、ビジネスと人権に関する最新の知見を提供しています。イサラアカデミーでは、優れた取り組みを分析・分解し、いかに管理システムやパフォーマンスの向上を図る事が出来るかについて、事例研究が共有されます。また、アジアにおける労働者や労働者の採用に関する法律や過程についての最新情報が共有されます。イサラアカデミーはさらに、拡大するビジネスと人権コミュニティの間でネットワークや関係を構築する上で重要なフォーラムでもあり、これはアジア諸国の国内では特にそうです。

マルチステーク ホルダーとの関わり

イサラ研究所は、3日間に渡り開催されるグローバルフォーラムから4半期ごとに国や地方レベルで開催される会議に至るまで、包括的、公平でデータや最新情報に基づいた独自性のあるマルチステークホルダー会議を実施しています。イサラ研究所は、これらのマルチステークホルダー会議において、倫理的なサプライチェーンの分野における労働者、企業、政府、NGO、労働組合、学者やイノベーターへ、世界のサプライチェーンにおける労働者の搾取や人身売買に関連した問題へ取り組む為の現在の慣行やアプローチの批判的分析を促しています。イサラ研究所は、公平・公正な意見交換、積極的傾聴や集団的な問題の分析・解決を通し、問題解決に向けて今後数年間に推進され、時間が費やされるべき最も有望で実証されたアプローチへの理解と同意を形成しています。

出発点：仕事について良く理解するには、労働者の声を聞く必要があります。

ILO、Walk Free、IOM (2022)では、世界には強制労働の被害者約2,760万人が存在し、その内の約1,500万人がアジアにいと見えています。国際的なブランド、小売業者や輸入業者にとっては、借金による束縛や強制労働のリスクを抱えた労働者の存在は、彼らのサプライチェーンにおいて、検知されていない現代の奴隷制が存在するリスクもはらんでいます。

しかし、非熟練労働者の採用においては、彼らを搾取する必要はありません。事実、移住労働者の採用・雇用は、彼らにとって非常に大きなエンパワメントになると同時に、サプライヤー、地域社会や業界にとってはプラスに働くようにする事が出来ます。

しかし、NGOや労働組合は強制労働の検知が可能な一方、企業は多くの場合それが出来ません。なぜなら、現地に根付いたこれらの市民社会団体（CSO）は、独立性を保ち、継続した地域への関与を通して、労働者との信頼関係を構築しているからです。一方で、企業は、多くの場合監査や監査に基づいた認証を適用するか、または他のベンダーやツールを駆使

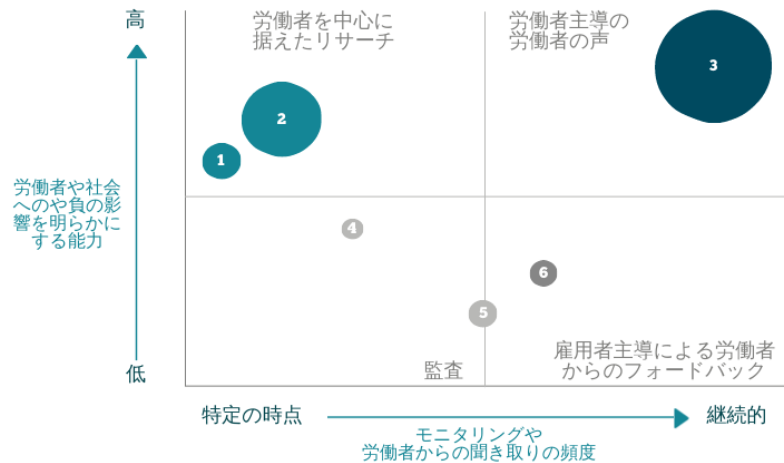
し労働・社会関連のリスクを突き止めようとします。しかし、これらの方法は独立性に欠けるかまたは労働者からの十分な信用を得ておらず、報復に対する適切な保護措置がありません。これらの監査や企業が牽引する他のツールが、現地のNGOや労働組合の間では良く知れた強制労働や社会リスクの検知に失敗するケースが多いのは、驚くべき事ではありません。例えば、移住労働者が監査人や訪問したバイヤーへ労働問題を自由に開示する事はまれです。ただ、これは必ずしも監査人や訪問者の責任と言う訳では無く、単に当面の問題へ対応する為の正しいツールでは無いと言う事なのです。

サプライチェーンにおける人権リスクをベストプラクティスへ変えようと試みる企業や国際的バイヤーは、どうすればよいのでしょうか？それは、現地に根差した市民社会団体（CSO）と提携する事です。CSOは、労働者や地域社会との現行の有意義な関わりを通して、彼らへの人権や環境影響を理解・是正する上で最も適しています。

国際的なバイヤーの多くは、信頼でき、独立性を保ったNGOや労働組合の一つ一つと提携する為の時間的・能力的・労力的余地を持ち合わせていません。それゆえ、企業にとっては、**労働者の包括的モニタリング (ILM)**及び**ILM行動ネットワーク**が非常に重要です。企業は、ILMやILM行動ネットワークを通し、精査され、共通の価値観を有し、労働者や地域社会により信頼されたCSOのネットワークとつながる事が出来ます。これらのCSOは、労働者との真の関係性や現場の専門知識を有しており、サプライヤー、送り出し・受け入れ機関や政府と現場で協働する為の能力を有しています。

強制労働を検知する能力 VS 労働者と関わる頻度と安全性

6つのアプローチの比較*



要点

1. 独立した非現地の当事者によるリサーチ
2. 独立した現地の当事者によるリサーチ
3. 現地の市民社会団体(CSO)が運営する独立した労働者の相談窓口
4. 社会監査/監査に基づいた社会的コンプライアンス計画
5. 雇用者主導の調査
6. 第3者が運営する労働者のフィードバックツール (非現地のCSO)

注釈:
円のサイズは、労働者保護の度合を示しています。

* この図のさらなる詳細は、下記の文献をご参照下さい: Rende Taylor, Lisa Maria, AM Soto Bernal, M Taylor, and J Basedow (2021). Repayment of Recruitment Fees to Workers: 4 Emerging Best Practices. Palo Alto and Bangkok: Issara Institute.



労働者の包括的モニタリング (ILM)は、地域や産業をまたいだ労働者の声です。

労働者の包括的モニタリング (ILM)は、労働者の声を中心に据えた技術システム及びマルチステークホルダーの協働プラットフォームで、国際的なブランド、小売業者、サプライヤー、送り出し・受け入れ機関や政府機関へ、より倫理的なサプライチェーンを推進し、労働者、地域社会や市民社会へより有意義に関わる為のツールを提供します。

イサラ研究所と提携するブランドホルダー、小売業者やサプライヤーパートナーは、ILMを通し、ホットラインや他の労働者の相談窓口を運用する共通の価値を持った現場のNGOや労働組合のネットワークが記録・管理するサプライチェーンにおける労働者の声のリアルタイムなデータにアクセスする事が出来ます。イサラは、ILMを通し、労働者や他の受益者より月に1万から2万5千件超の間合せやメッセージを受けています。

ILMの主要メトリックスは、イサラ研究所が管理するwww.workervoices.orgのILMコミュニティダッシュボードにて公開されています。具体的には、労働者により報告された主な強制労働問題、これらの問題の是正の質や適時性、対応した労働者数や労働問題数などを確認する事が出来ます。

イサラ研究所は、www.workervoices.orgと合わせて、ILMを通し戦略パートナー (SP) 企業へ安全性が確立されたダッシュボード (ユーザーインターフェース)を提供しています。戦略パートナー企業は、このユーザーインターフェースを通し、各サプライヤーの現場で労働者により報告された労働問題を追跡する事が出来ると同時に、サプライチェーン全体における時系列での労働問題の傾向やパターン及びサプライヤーや送り出し・受け入れ機関の倫理パフォーマンススコアを確認する事が出来ます。戦略パートナー企業はま

た、ILMにおいてシステム強化や能力開発の為の業務計画を策定し、その進捗や成果を追跡する事が出来ます。

労働者の包括的モニタリング (ILM)は、追跡するデータ及び有権者やステークホルダーとの関わりや彼らをつなげると言う観点から、非常に包括的となっています。

労働者の包括的モニタリング (ILM): 人間的側面



ILMは、グローバルサプライチェーンにおける人身売買や強制労働問題の特定・改善と言う共通の目的を達成する為に、NGO、労働組合、送り出し・受け入れ機関、サプライヤー、国際的なバイヤー、労働者や一般市民を革新的かつ系統的な方法でつなげます。

労働者は、相談窓口、Golden Dreams モバイルアプリや労働者を対象とした調査を通し、人権への潜在的または実際の負の影響を安全な方法で提起する事が出来ます。企業は、労働問題の対応状況を追跡し、問題へのタイムリーな対応を行い、労働者へ救済措置を施し、将来的な労働問題の発生を防ぐ事が出来ます。

ILM行動ネットワークには、企業、政府や市民社会の当事者など、労働者により報告があった問題に積極的に追跡・対応し、支援を求めるあらゆる当事者が参加しています。

ILM行動ネットワークは現在、カンボジア、マレーシア、ミャンマー、ネパール、台湾及びタイとアジア6ヶ国に存在します。また、バングラデッシュ、インド、インドネシア、日本やベトナムなどの製造国や、日本、マレーシア、湾岸諸国、ヨーロッパ諸国やその他の国々などで働く外国人労働者の出身国へもネットワークを拡大しています。

労働者の包括的モニタリング(ILM): 技術的側面



ILMは、移住労働者の送り出し・受入国において労働者により確認された採用や労働環境に関する問題のほぼリアルタイムなモニタリングが可能な安全性が保証されたクラウドベースの労働問題管理システムです。

ILMは、多言語に対応したソフトウェアシステムで、ILM行動ネットワークに参加するあらゆるステークホルダーグループを対象としたユーザーインタフェース、データやダッシュボードが付随しています。

NGOや労働組合のサービスプロバイダーは、ILMを通し労働者により報告された問題を確認・追跡出来ると同時に、これらの問題を安全に他の団体へ紹介する事が出来ます。

企業や政府機関のユーザーは、労働現場やサプライチェーンにおける労働問題への対応、問題の改善状況、企業方針やビジネスシステムの強化や労働者への危害削減活動など、労働問題への対応状況を継続して追跡する事が出来、問題をより良く理解すると同時に継続した改善を行う事が出来ます。

企業は、ILMダッシュボードのデータに基づき人権ユーザーリジェンス報告書を作成する事が出来ます。また、イサラ研究所が運営するworkervoices.orgは、アジア地域の業界全般における匿名化された労働問題関連データを集約しており、これらは一般公開されています。



ILM行動ネットワーク

ILMは、システムや人々へ非常に重要で ポジティブな変化をもたらします。



ミャンマー人移住労働者

世界における強制労働の63パーセントは、民間経済で起こっており、企業は、労働者や環境への負の影響へ対応する為、単なる法令順守を超えたこれまでに多くの法令に対応する必要性に迫られています（OECD, 2023）。

人権に光をあて、優良で実用的なデータへアクセスする為には、労働者の保護や安全性の確立そして彼らとの信頼関係の構築が必要です。イサラ研究所は、企業や政府による対応される必要があるが、監査や他の査察では検知されない労働問題や地域社会問題の特定をサポートしています。



カンボジア人コミュニティーのメンバー

今日、バイヤー及び生産者は、労働者や地域社会の本物の声に基づいた企業デューデリジェンスや問題の是正システムを構築する事が出来、世界で働く何百万人もの移住労働者にとってより良い労働環境や倫理的採用メカニズムを推進する事が出来ます。これにより、移住労働者は、貧困に苦しむ本国の家族へのより多くのお金を送金する事が出来ると同時に、地域資源の保護や世帯収入、人的資源、弾力や幸福度を向上する事が出来ます。

労働者による問合せ &
メッセージ件数

384,513

過去3年間

労働者の救済件数

145,834

過去3年間

労働者の救済による
関連費用の払い戻し
額(米ドル)

\$2.1M

過去3年間

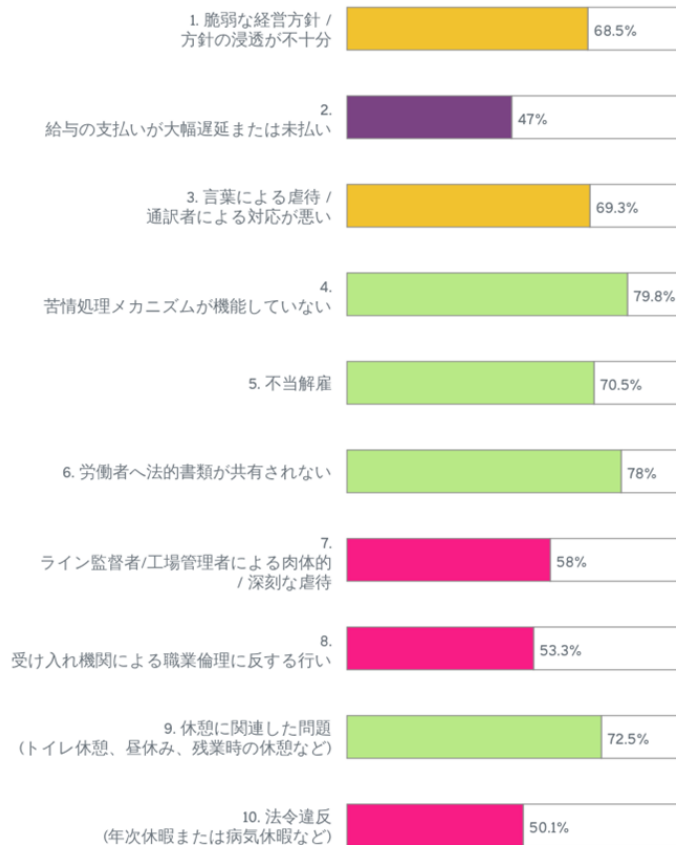
仲介業者(ブローカー)による
違法なサービス料の徴収を防いだ額(米ドル)

\$102K

2023年1月から
2024年8月にかけて

ILMにおける労働者により報告された強制労働問題 トップ10及び問題是正の質 (0~100%)

2021年9月から2024年8月までの3年間



ILMが他のホットラインや アプリと比較しより多くの 問合せやメッセージを 受けるのはなぜか？



包括性及びサービス志向。 イサラ研究所は、ILMを通して、業界や職場別の労働者のみならず、あらゆる求職者、外国人労働者や現地労働者へ常時対応しています。



安全・信頼性。 イサラは、搾取された労働者や彼らのデータの保護に真剣に取り組んでおり、労働者から信頼を得ています。



移住労働者の送り出し国から受入国に至るまでに対応。 イサラ研究所は現場で活動しており、移住労働者の送り出し・受入国の地域社会とつながっており、最新情報や信頼を得ています。



成果。 ILMは有効的に機能しており、対応した労働者は満足しています。

企業は、ILMを通し如何に人権デューデリジェンスをボトムアップに実践できるか？

- ✓ 保護された労働者を中心に据えた**市民社会**行動ネットワークの拡大
- ✓ **労働者の相談窓口**を通し、労働者の継続したフィードバックを責任ある労働慣行とつなぐ
- ✓ **サプライヤーや送り出し・受け入れ機関**によるリスクへの対応や将来的な問題を防ぐための問題是正やビジネスシステムの強化
- ✓ **労働者や地域社会**が労働問題への対応がなされたかどうか、またどのように対応されたかを確認
- ✓ **国際的なバイヤー**による事業に関するより良い意思決定を行う為のより信頼性の高いデータや知見の獲得

労働者及び企業の為の成果

人権デューデリジェンス (HRDD)



労働者の包括的モニタリング (ILM)

ファーストマイルに至るまでの倫理的採用慣行

アジアにおける労働者の移住回廊のほとんどは、インフォーマルな仲介業者（ブローカー）、オンライン詐欺師、貸金業者や高利貸の存在により、多くの危険や高額なコストを払わなければならない危険性をはらんでいます。

- オンラインや対面にて関わりを持つ**違法な仲介業者（ブローカー）**は、採用関連書類の準備や送り出し・受け入れ機関や雇用企業へのアクセスにおいて、求職者・労働者より高額な費用を徴収します。
- **オンライン詐欺師**は、虚偽の求人を保証する事で、求職者をだまします。
- **貸金業者や高利貸**は、求職者またはその家族へ、パスポートや採用に関連した他の書類、交通費、健康診断、ビザや労働許可書に関連した費用を支払う為のお金を貸し、彼らに借金を負わせます。

仲介業者（ブローカー）や送り出し・受け入れ機関により求職者からの徴収が可能な費用が法律で定められていない、あるいはほとんど定められていない国では、責任ある採用慣行の実践はさらに難しくなっています。

ほとんどの業界では、監査を通じた法令順守を通し、責任ある採用慣行を実践しようとします。リスクのある送り出し・受け入れ機関や労働者の存在が判明した場合は、彼らは除外されます。承認された送り出し・受け入れ機関のリストは非常に短くなり、多額の費用を支払う必要がある認証プロセスを通った機関のみリストアップされます。求職者は、真実が明らかになった場合は苦勞して得た仕事を失う恐れがある中、採用関連費用を支払ったかどうかの情報開示を求められます。これは、まさに企業のリスクへ対応する為のアプローチであり、労働者のリスクへ対応する為のものではありません。

代わりに、**より人権デューディリジェンスに基づいた異なるアプローチ**、仲介業

者（ブローカー）や詐欺師などのリスクや高額費用の問題への正面からの対応に時間や資源を投資してはどうでしょうか？これは、労働者や地域社会、企業や政府など皆に利益をもたらさずです。

これは、**ILM行動ネットワーク**がまさに行っている事です。**ILM行動ネットワーク**は、進歩的なサプライヤー、送り出し・受け入れ機関、政府や現場に根付いた市民社会団体（CSO）などを**倫理的採用ネットワーク（ERN）**としてつなげ、以下の活動を通し、越境の採用活動全体及び**ファーストマイルに至るまで、労働者の包括的モニタリング（ILM）を拡大します。**

- 求職者の教育やエンパワメント
- 仲介業者（ブローカー）による非法・過度の費用の徴収や違法行為の検知及び介入。
- **Golden Dreams**スマートフォンアプリを通し、求職者による情報入手や合法的な求人への応募を支援

労働者の採用回廊がこのような場合、
どうすれば責任ある採用慣行を
実現出来るでしょうか？



倫理的採用ネットワーク (ERN)を通し、
リスクを有する採用回廊へ変革をもたらす

教育 & エンパワメント

将来的な移住労働者の教育及びエンパワメント。
また、彼らに透明性を保ち幅広く紹介された正式な雇用機会 (ゼロフィー求人や法律に規定された費用のみを労働者より徴収する求人)を可能な限り幅広く非搾取的な方法で直接紹介。

教育

エンパワメント

直接紹介

様々な仕事

労働搾取無し

特定 & 介入

違法な仲介業者(ブローカー)より請求された違法で認める事が出来ない採用関連費用を特定し、求職者によるこれらの費用の支払いを防ぐか、すでに支払った場合は求職者への払い戻しを求める。違反者は、有効的な報告メカニズムへ報告される。

労働者の声

地域社会ネットワーク

仲介業者
(ブローカー)へ介入

問題の報告メカニズム

ベストフィットマッチング

雇用主負担方針(EPP)を採用する企業においては、送り出し国のファーストマイルにいたるまでゼロフィー採用を確立する。ファーストマイルにおいて採用関連費用を一切支払わない求職者は、EPPを採用する企業の求人へ応募が可能。また、ファーストマイルにおいて法律で定められた採用関連費用の支払いを避ける事が出来ない求職者は、法律により規定された採用関連費用のみを労働者に支払いを求める求人へ応募が可能。これにより、彼らは採用過程において罰を受ける事はありません。

公平なマーケット
プレイスアプローチ

無料紹介


倫理的採用ネットワーク及びGolden Dreamを通じた 移住労働者の採用システムの変革



ネパールの地域に根付いた**NGO**パートナーによる同国の人口流出が高い地方の求職者の教育及びエンパワメントを通じ、求職者が有する権利の情報や**Golden Dreams**スマートフォンアプリ(ウジョール サパナ(ネパール語))を共有(左の写真)

ミャンマーの**NGO**及び労働組合による、違法な仲介業者(ブローカー)や詐欺師の特定・介入など、現場における最新の課題や成果を共有する為のミーティング(右の写真)





私は、2023年よりGolden Dreamスマートフォンアプリを使用しており、送り出し機関により掲載されたタイのエレクトロニクス工場における求人に応募しました。結果、何の問題にも直面する事無く無事採用されました。また、採用関連費用を一切支払う必要はありませんでした。

求職者の多くは、採用過程で仲介業者(ブローカー)に多額のサービス料を支払わなければならない中、私は採用関連費用を一切支払う必要がありませんでした!


Golden Dreamスマートフォンアプリをダウンロードし、違法な仲介業者(ブローカー)に騙され、高額なサービス料を徴収されるのを防ぎましょう!

イサラ研究所のスタッフは、首都における契約書への署名(左の写真)及び出発前研修(中央の写真)や、受け入れ国の職場などにおいて求職者と直に接し(右の写真)、彼らを支援する事が出来ます。

イサラは、地域社会で活動する**NGO**及び労働組合のメンバーや、**ILM**行動ネットワークメンバーと連携し倫理的な採用慣行の強化を図る協力関係にある送り出し・受け入れ機関や雇用企業との協働を通し、移住労働者との信頼関係や彼らの保護をより強固なものにしています。

私は、**Golden Dreams**を通しマレーシアで仕事を得る事が出来ました。アプリ内で略歴・経歴を作成し、ビザ及び渡航費を負担しなくて良い求人に応募し採用されました。

一部のエージェント(仲介業者)の罠にはまっ
はいけません。一部のエージェントは、マレーシアビザの取得代行において40~50万ルピーのサービス料を徴収します。それゆえ、これらのエージェントを追従してはいけません。**Golden Dreams**をダウンロードし、アプリ内に掲載されている求人に応募して下さい。



求職者は、仲介業者(ブローカー)を通し求人に応募する為に、数万チャットを払わなければならないかもしれません。しかしながら、実際には仲介業者が約束した仕事内容と工場現場での実際の業務が異なる場合が多くあります。**Golden Dream**に掲載される求人に記載されている労働条件や福利厚生は、実際のもものと合致しています。



私は、長い間**Golden Dreams**を使用しています。**Golden Dreams**を通し、労働者の権利についてより多くを学ぶと同時に、合法的な送り出し機関を把握する事が出来ています。**Golden Dreams**にはまた、求人掲載機能が付随しており、良心的な求人が掲載されています。それゆえ、タイにいる求職者・労働者にも、**Golden Dreams**モバイルアプリを使用する事を推奨します。

Golden Dreamsは、採用関連費用を払わずに仕事を得る上でとても役に立つ求人アプリです。特に、地方や都市から離れた地域に在住し、送り出し機関の求人へ応募したい求職者にとって有益です。

昨今の困難な状況においては、非常に多くの違法な仲介業者(ブローカー)が求職者を騙しています。このような危険な状況を回避する為、**Golden Dreams**の使用を強く推奨します。

Golden Dreamsの使用においては、スマートフォンのみが必要です!

イサラ研究所の事業モデルにおける8つの重要な要素



パートナーシップ

我々の世界に変革をもたらす為には、労働者、市民社会や国際的なブランド、小売業者、輸入業者、サプライヤーや送り出し・受け入れ機関などの官利団体との信頼、関係性や長期的で継続したパートナーシップの構築が必要です。これは、パートナーの現状を理解した上で彼らに従事する事を意味し、彼らを名指し非難する事ではありません。



サービス精神

イサラ研究所では、何よりもまず受益者の為のツール、声、選択肢や尊敬である事を重視しています。イサラ研究所は、移住労働者や脆弱な立場にある人々の公共の利益の為にマルチステークホルダーパートナーと協働する非官利団体です。イサラ研究所は、受益者の状況を向上する為に、労働問題の改善、被害の防止やシステム強化を通じ目に見える成果を出しています。イサラ研究所は、サービス精神を持ち日々活動しています。



労働者の声のエンパワメント

労働者の声のエンパワメントは、労働者と企業の両方にとって良い事です。我々は、労働者より、採用、移住や労働条件についてだけでなく、仕事や仕事かどのようになされているかや如何に仕事をより効率的に行えるかなど、多くの事を学ぶ事が出来ます。労働者の声は保護され、問題の改善に直接つながる必要があります。イサラ研究所及び我々のパートナーは、民主的で保護された労働者の声のエンパワメントにコミットしています。



持続的イノベーション

イサラ研究所は、倫理的サプライチェーンに変革をもたらす為に必要な技術システムを構築しています。データや詳細な分析を通じ、根本原因の理解・対応に努めており、重点的で効果的な対応を実現しています。また、継続した分析や労働者の声のリアルタイムデータを通じ、労働問題の傾向、出現パターンや脅威を予測・追跡し、いかなる対応が効果的なかを把握する事が出来ます。イサラ研究所は、技術システムを通じ労働問題を定量化しています。



移住労働者の送り出し国のファーストマイルに至るまでのネットワークや専門性

イサラ研究所及び市民社会パートナーは、グローバルサプライチェーンの労働者や地域社会の協力のもと、継続して労働問題の現場に従事しています。イサラ研究所には、サプライヤー、送り出し・受け入れ機関や労働者と同じ国籍のスタッフが在籍しています。サプライチェーンにおける人権問題の多くは、労働者の十分な保護や現地の文化、ビジネス環境や規制環境を十分に理解した上で、地域社会や労働現場にて解決される必要があります。それには、現地の当事者のサポートが必要です。



持続可能なシステム変革

イサラ研究所は、あらゆる労働者や彼らの声を重視しています。一方で、労働者の採用・管理や人権問題に対応する為のシステムを変革・強化する事で、ほとんどの受益者をサポートする事が出来ます。システムやキャパシティが整備された後は、それ以前の状況に戻る事はほぼ無いでしょう。パートナーやネットワークメンバーと共に活動する、または彼らを通して活動する事で、皆が同じ方向に同じペースで進む事が出来ます。



倫理及び人権

イサラ研究所は、地域社会や労働者へのリスクや影響のあらゆる側面をいかに考察するかを理解する事で、責任ある調達や真に倫理的な労働者の採用活動を推進しています。倫理は、デュー・デリジェンスやリスクの低減を伴う場合は難しくなるかもしれませんが、イサラ研究所は、企業の能力強化を支援しており、彼らが倫理に関する複雑な状況に自信や倫理性を持って対応し、人権デュー・デリジェンスの実践を前進させる為の支援を行っています。



何が最も効果があるのかをスケール化

解決策は、十分な予算を有する場合にのみスケール化する事が出来ます。また、有効性、再現性や無害性が証明された場合にのみスケール化する価値があります。イサラ研究所は、データに基づいたマルチステークホルダーアプローチを通じ、如何にして効果的な活動を実施し、異なる労働現場における労働者の生活を直接的に向上させかを理解する為の十分な測定や計画を実施しています。真の現場への関わりやオーナーシップを通じ、持続可能性を推進する事が出来ます。

パートナー及びドナー (2024)

Walmart  org  foundation

TWININGS



amazon

BHP

TESCO



Greencore



Sainsbury's



BSF
Beaver Street Fisheries, Inc.



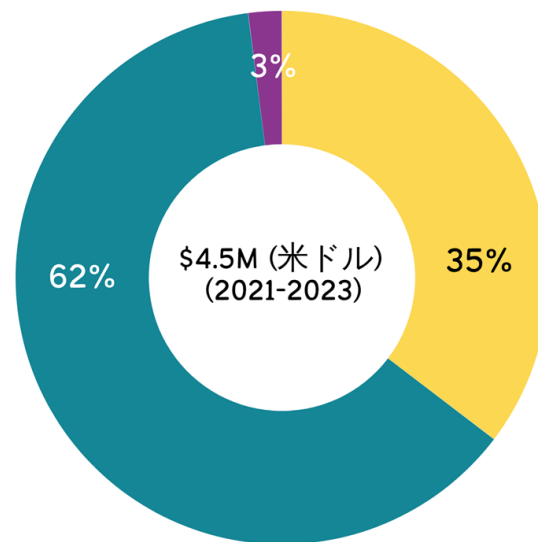
Woolworths Group




LABEYRIE
FINE FOODS

SK★P
Registration No. 200001021690 (524297-T)



収益 (2021~2023)



-  企業からの寄付
-  財団からの助成金
-  個人からの寄付



WWW.ISSARAINSTITUTE.ORG
INFO@ISSARAINSTITUTE.ORG